

(兼題)

「豆」

伊藤 玲子 選

佳句

丸い豆ころころ心転ばせる
豆乳鍋すべての嘘を溶かし込む
一粒の豆が生み出す大宇宙
どの色と仲良くしよう五色豆
誕生日嬉しい時の赤い豆

らんまん

美智子

ちかし

美智子

歌子

人

胸中の鬼にたつぷり豆を撒く

三島 崙丘

地

笑いながら転がっている豆拾う

佐藤 治代

天

鬼の豆まだ人間の味がする

珍部美江子

軸吟

豆絞り陽気に鬼も踊りだす

伊藤 玲子

(兼題)

「冷える」

小豆沢歌子 選

佳句

熱爛が体の冷えを吹きとばす
底冷えにじつと耐えてる痩せ財布
係去んで冷え冷えとする広い居間
冷蔵庫に冷え切っている缶ビール
冷えている人を呑みこむ冬の駅

蘭水

崙丘

弘子

煩惱児

美江子

人

燃え尽きた胸を氷雨に叩かれる

三島 崙丘

地

三面の記事から冷えてくる心

竹治ちかし

天

冬將軍私を抱いて離さない

吉川らんまん

軸吟

あと少し冷えに耐えてる冬籠り

小豆沢歌子

(兼題)

「偶然」

銭山 昌枝 選

佳句

重なった偶然運が向いてきた
偶然の出会いドキッとドラマめく
偶然が生みだす人の幸不幸
偶然の出逢いで共に古希を越え
偶然の出逢いと見せる回り道

たえこ

博子

崙丘

鏡子

寿美

人

偶然に出会い生き様語り合う

岡 あきら

地

偶然を装う顔で落ち着かぬ

清水美智子

天

偶然に見つけた穴が丁度よい

伊藤 玲子

軸吟

偶然の出会い昭和が甦る

銭山 昌枝

(席題)

「二」

竹治ちかし 選

人

夢多い二男の自由羨まし
もう一歩いつも二番で慣れている
二の足は踏むまい私頑張れる
天と地の違いを知っている二番

伊藤 玲子

吉川らんまん

堀 弘子

軸吟

竹治ちかし